

ベニズワイの脱皮・成長を明らかにする

研究分野

水産資源を管理・利用する

ねらい

- ・ベニズワイの漁獲量は長期的に減少傾向にあることから、資源管理の取り組みが必要です。
- ・効果的な資源管理方策を検討する際には、年齢や成長といった情報が必要となりますが、それらはほとんど分かっていません。
- ・富山湾から汲み上げられた海洋深層水を活用し、生息環境水温（0-1℃）を再現した飼育実験を行うことにより、脱皮による成長過程を調べました。

成果

- ・雌雄ともサイズのより大きな個体ほど、脱皮1回あたりの甲幅成長量が大きい傾向にありました（甲幅約9mmではおよそ4mm成長したのが、甲幅約90mm（雄）ではおよそ15-20mm成長しました）。
- ・脱皮の間隔（日数）は小さな個体で短く、大きな個体ほど長い傾向が認められました（甲幅約10mmではおよそ200日であったのが、甲幅約50mmでは390日でした）。
- ・雌が成熟サイズ（甲幅60-80mm）に達するまでにはおよそ7-8年を必要とし、雄が漁獲許可サイズ（甲幅が90mmを超える）となるにはそれ以上の年数を要すると推定されました。

活用

- ・資源を持続的に利用できる漁獲の方法を検討する際に、重要な基礎知見として利用されます。

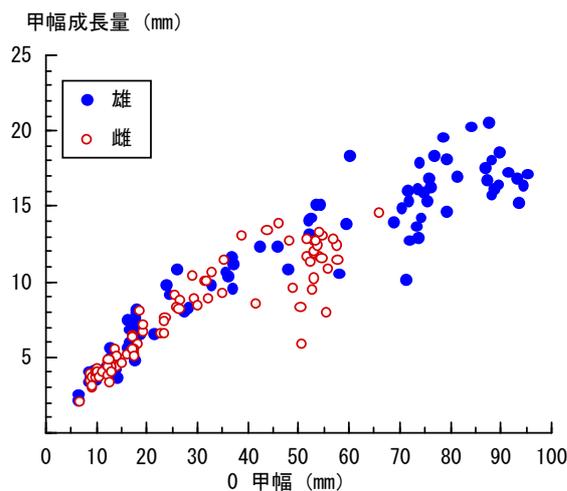


図1 ベニズワイの甲幅と甲幅成長量の関係

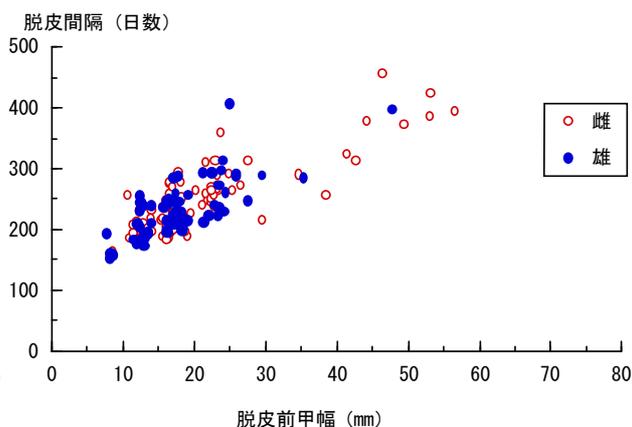


図2 甲幅と脱皮間隔の関係

研究実施期間 平成11年度～平成17年度
問い合わせ先 富山県水産試験場(076-475-0036)